

FAX 通信

2025年4月1日発行 No.04-028 From KOTANI

ホームページ <http://www.kotanikk.com>

新シール概論 (3) シールの選定の考え方 (5)

(1) シール選定について

今までには、代表的なシール類を説明してきましたが、市場にはまだまだ多くのシールがあります。どのようにして、皆様が必要なシールを選ぶかという問題があります。その場合について考えますと

1. 過去の実績があるので、同じシリーズのものを選択する。この場合はやはりこの実績が重要となります。
2. 使用条件が過去とは異なり、類似のものを選択できるかどうか不明の場合には、上司に相談するか。またはシールメーカーに相談するかになります。
3. シールメーカーの発行しているカタログを参考にして、実際の仕様と照らし合わせて判断する場合。
4. 最初からシールメーカーに相談して、最適なシールを標準品の中から選び出す。
5. シールメーカーと相談して全く新規のものをデザインする。

以上の中で、問題であるのは、5の場合です。

このケースでは、使用者は出来る限り、仕様についてすべてを公開することが好ましい。

しかし、新規のデザインでは、当然データ類がなく、過去の実績もないのですから、やはり何らかの試験を行い使用可否の確認をすることが必須となります。

シール類の作成には金型などが必要になり、費用面でも負担が掛かりますし、ある程度の時間が掛かりますが、上手くできれば他社にない良いシールを特別に入手でき、差別化した性能をもつ機器類になる可能性も大きくなります。

ここでの考え方について、以前からシールメーカーの出している標準品を使用すれば、同じような機器類では、性能面では他社と同じになってしまい、特別な性能を盛り込むことが困難であるということを経験があります。

しかし、コスト面(総合)から見ればやはり標準品(カタログアイテム品)は、在庫ある場合もあり、メリットは確かにあります。

私たちは、このような場合の差別化を図るならば、摺動面の粗さや材料などで工夫すれば解決できることもあると言っています。

ここで、少しこだわりを持ち、カタログ品でも、シール材料を特別仕様にする事で差別化を図ることも意義のあることと考えています。

例えば、形状は同じでも(形状を変えると当然標準品から外れる)標準の材料に対して、摺動抵抗を下げる、また耐摩耗性を向上させる(特にゴムなどの材料の表面改質をする)ことも一案です。

しかし、シールメーカーの対応力に期待しないとならない場合もありますので、ご注意ください。

(続く)

取扱い製品について

NK リング：ふっ素ゴムをふっ素樹脂で被覆した画期的な O リング

コードリング：英国 NES 社の誇るふっ素ゴムつなぎ O リング

TESNIT：スロベニア DONIT TESNIT 社製の高品質ジョイントシート

その他の各種シール製品

以上の詳細はホームページに記載していますので、是非ご覧ください。カタログや技術資料は、ご要望がございました下記の本社宛にご一報ください。

コタニ株式会社

本社：神戸市中央区浜辺通 2-1-30

TEL:078-251-5300 FAX:078-251-5307

FAX 通信の記事についてのご意見や質問がございましたら下記の担当者に連絡ください。(担当：根本)